

令和元年度9月 第2次補正予算案



京 都 府



予算編成の基本方針

熊本地震以来の非常災害に指定された令和元年台風第19号等による被害の発生を受け、本府では福島県をはじめとする被災地への職員派遣などの支援を実施。

今後とも被災地の要請を踏まえた支援を行うとともに、府内における被災箇所[※]の速やかな復旧に取り組むため、補正予算を編成。

【補正予算の概要】

1. 被災地支援、被災者の受け入れ
2. 府内被災箇所[※]の復旧

■ 補正予算の規模

一般会計 85百万円 (補正後予算額 899,278百万円)



被災地支援

被災地の支援

55百万円

○ 被災地応援職員(家屋被害認定調査支援員、保健師チーム、災害査定に係る土木技術職員等)や災害ボランティアの派遣等





府内被災箇所への復旧

土木施設の災害復旧

30百万円

○ 豪雨に伴う木津川水位の上昇により、流出した上津屋橋(流れ橋)上部工の復旧

